

第3回 Jークレジット制度森林小委員会 議事概要

Jークレジット制度運営委員会事務局

日 時：令和4年6月28日（火）10：00－12：00

場 所：農林水産省4階 第二特別会議室および WEB 配信にて開催

委 員：丸山委員長、浦上委員、佐藤委員、立花委員、恒次委員、二宮委員、本郷委員

事務局：林野庁

：小坂森林整備部長、川村課長、
増山推進官、魚住補佐

経済産業省

：内野企画官

環境省

：井上室長

農林水産省

：中嶋補佐

みずほリサーチ&テクノロジーズ（株）

：荻田上席主任コンサルタント

【審議事項】

1. 「Jークレジット制度における森林管理プロジェクトの制度見直しの概要」に対する意見の概要

- ・パブリックコメントで寄せられた意見の内容と、意見に対する考え方を説明した。

2. 制度文書改定案（新旧対照表）

- ・パブリックコメント内容も踏まえた実施要綱、実施規程（プロジェクト実施者向け）、モニタリング・算定規程（森林管理プロジェクト用）、方法論策定規程（森林管理プロジェクト用）および方法論 F0-001（森林経営活動）の改定案、ならびに方法論 F0-003（再造林活動）の新規策定案を提示した。事務局が提示した制度文書改定案等で合意した。

3. 木材利用の炭素固定量をクレジット化するための制度要件に係る検討

- ・第2回森林小委員会から継続検討課題となっていた①クレジットを木材サプライチェーンの川上（林業経営）と川下（木材利用）のどちらに付与するか、②川上へ付与する場合の算定で用いる炭素固定量の残存率を判断する基準年数として60年案と90年案どちらを採用するかについて議論を行った。検討の結果、①川上にクレジットを付与することとした上で、今後川下に付与する方法論が提案された場合は、必要に応じて森林経営活動方法論も含めて見直しを行う、②90年時点の残存率を適用することで一致した。今後、本日の議論の内容を整理した上でパブリックコメントを行い、次回の運営委員会に提示することとされた。

4. 今後のスケジュール

- ・本日示された制度文書改正案については、技術的な修正を加えるとともに、木材利用の炭素固定量のクレジット化のためのルールも盛り込んだ形で案を作成し、次回運営委員会に諮ることになった。

文責：事務局